

## 保健体育科

保健体育科について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けられるよう、生徒が体育分野と保健分野の双方の見方・考え方を働かせながら、課題を発見し、合理的に解決に向けた活動が適切に取り上げられていること。
- 5 日常生活に関連が深い教材や健康に関する課題を発見・解決する活動とともに、生徒が自他の健康に関心を持ち、運動やスポーツの多様性について知ることができる活動に取り組みやすいよう多様な学習方法が取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 保健体育科

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新編 新しい保健体育」

各単元冒頭の「見つける」「学習課題」には、学習課題や学習内容に関するキーワードが明示されるとともに、章末に全てのキーワードの解説が掲載されていることにより、生徒がいつでも学習内容を確認できる構成となっている。また、ほぼ全ての単元を「課題の解決」「活用する」「広げる」の構成で統一し、導入からまとめ・振り返り、発展的活動までの学習活動の流れが順序立てて示されており、生徒が見通しをもって学習を進め、学習内容を振り返り、確認できるよう優れた工夫がされている。

各単元の活動では、生徒が学習課題の合理的な解決に向けて多面的・多角的に考察し、その結果を発表や話し合い活動を通して表現する発問が設定されるとともに、「広げる」では、学習したことを基に話し合ったり、自他の生活と関連付けて考えたりするなど、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されており、優れている。

巻頭の「保健体育の学習方法」においては、生徒のコミュニケーション力や論理的思考力の育成に向けた「情報の収集」「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の多様な学習方法を詳しく提示するとともに、各単元末の「活用する」において、「説明してみましよう」や「話し合ってみましよう」等の問いの中で、実際に生徒がそれらの学習方法を活用できるよう優れた工夫がされている。

健康や安全については、「見つける」「活用する」「広げる」において、自身の実生活を振り返り、健康課題に応じた適切な意思決定や行動選択を考える課題が設定されるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害などの傷害の発生要因を具体的な写真やイラスト等を掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動や、特に自然災害において、「共に生きる」という単元の中で、地域と共に災害に備えることの重要性を学習できるよう工夫されており、優れている。

#### ■大日本図書「中学校保健体育」

各単元では、「やってみよう」「調べてみよう」など、課題解決のための学習活動だけでなく、生徒が課題解決に向けて学習を進める際に参考となるグラフや図などの資料が簡潔にまとめて掲載されている。また、巻頭の「口絵」や章末資料では、生徒が興味をもちやすい資料や表等が取り上げられるとともに、ページ下に「ミニ知識」として学習内容に関連した情報が掲載されており、基礎的・基本的な内容を習得しやすいよう工夫されている。

各単元の冒頭では、「学習のねらい」が示されるとともに、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」と学習の流れが明確になっているが、発問内容が生徒にとって具体的にイメージしづらく、興味を抱きにくい表現となっている。

各単元末の「活用して深めよう」では、食生活や睡眠時間など、生徒自身の生活を振り返る発問が設定されることにより、生徒が実生活を具体的にイメージしながら習得した知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。

巻頭の「保健体育の学び方」においては、生徒のコミュニケーション力や論理的思考力の育成に向けた「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の多様な学習方法が具体的に提示され

ており、章末資料の「学びを活かそう」においては、対話や発表を通して、他者に伝える場面を設定することで、コミュニケーション力の育成に向けた工夫がされている。

応急手当等の実習に関連した単元では、ICT機器を利用して情報収集するよう促しているが、他の単元では、ICT機器を活用する場面が少なく、工夫がやや弱い。

健康や安全については、生徒が実生活の中で適切な意思決定や行動選択につなげられるよう、「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」において、健康に関する自身の生活の課題を見付け、改善する方法を考える発問が用意されたり、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。

#### ■大修館書店「最新 中学校保健体育」

各単元の冒頭「きょうの学習」では、学習課題や学習内容に関するキーワードが示され、各単元末の「学習のまとめ」では、具体的な発問が提示されている。また、章末の「章のまとめ」に「主体的に学習に取り組む態度」を設定し、学習内容の理解度などを自己評価する欄が設けられており、生徒が分かりやすく学んだことを振り返り、確認できるよう工夫されている。

巻頭の「保健体育の学び方」において、「課題学習」「実習」「ブレインストーミング」「ディスカッション」「インタビュー・アンケート・実地調査」の具体的な学習方法を提示し、生徒が多様な学習方法に取り組めるよう工夫されている。また、各単元末の「学習のまとめ」において、「グループで話し合ってみよう」などの課題を提示し、実際に生徒がそれらの学習方法を活用できるよう優れた工夫がされている。

各単元末の「学習のまとめ」や章末の「章のまとめ」においては、学習内容を活用して実生活の課題を考える問題が用意されており、生徒が習得した知識及び技能を活用し、課題解決を図る活動の中で、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。

健康や安全については、各単元の「課題をつかむ」「学習のまとめ」において、実生活の中で適切な意思決定や行動選択につなげられるよう、健康に関する自身の生活の課題を見付け、改善する方法を考える発問がされるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害などの傷害の発生要因を具体的な写真やイラストなどを掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。

#### ■Gakken「新・中学保健体育」

各単元が「ウォームアップ 課題の発見」「エクササイズ 課題の解決」「学びを活かす 学びの活用」の流れで構成されており、各単元の冒頭で「学習の課題」が示され、「ウォームアップ 課題の発見」の発問で、保健体育科としての見方・考え方と学習課題を提示する構成となっている。また、各ページ欄外下の随所に掲載されている「もっと広げる・深める」において、その単元や章の学習に関する発展的な内容の資料や学習課題が提示され、生徒がより発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。

各単元の「エクササイズ 課題の解決」「学びを生かす 学びの活用」の中で、学習内容に応じ、実生活に即した事象について説明したり表現したりするなど、言語活動を伴う学習活動を多く設定することで、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。

各単元末の「探究しようよ」では、考え方の具体例や関連するイラスト、写真等を同時に掲載したり、章末の「章のまとめ」には「振り返ろう」を設定し、学習の理解度などを自己評価する欄を設けたり、章で学んだキーワードを掲載することなどにより、生徒が課題発見から考察・振り

返りまで段階的に学習を進める中で、具体的に学習内容が理解できるよう工夫されており、優れている。

健康や安全については、「ウォームアップ 課題の発見」において、生徒が実生活の中で適切な意思決定や行動選択につなげられるよう、生活習慣病の予防の観点から、自身の生活の課題を見つけ、改善する方法を考える発問がされるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害などの傷害の発生要因を具体的な写真やイラストなどを掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	大日本図書	大修館	Gakken
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫		○	○	○	○
		2 指導事項(学習のめあてや振り返り活動等)の明示		◎	△	○	◎
2	習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1 習得した知識及び技能の活用を促す工夫		◎	○	○	○
		2 問題解決的な学習や言語活動の充実の工夫		○	○	○	○
		3 思考力、判断力、表現力等の育成に向けた工夫		◎	○	○	○
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮がなされていること。	1 探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫		○	○	○	○
		2 発展的な学習活動につながる工夫		◎	○	○	○
		3 ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫		○	△	○	○
4	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けられるよう、生徒が体育分野と保健分野の双方の見方・考え方を働かせながら、課題を発見し、合理的に解決に向けた活動が適切に取り上げられていること。	1 両分野の見方・考え方を働かせた課題解決などの学習過程の工夫		○	○	○	○
		2 健康や安全など適切な意思決定や行動選択につながる学習展開の工夫		◎	○	○	○
5	日常生活に関連が深い教材や健康に関する課題を発見・解決する活動とともに、生徒が自他の健康に関心を持ち、運動やスポーツの多様性について知ることができる活動に取り組みやすいよう多様な学習方法が取り上げられていること。	1 実験・実習の適切な取扱い		◎	○	○	◎
		2 コミュニケーション力や論理的思考力の育成に向けた多様な学習方法の工夫		◎	○	◎	◎
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。	1 人権教育の推進		○	○	○	○
		2 道徳教育の推進		○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1 単元構成の系統性・発展性		○	○	○	○
		2 他教科や教育課題等との関連		○	○	○	○
		3 他校種との接続		○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携		○	○	△	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ		○	○	○	○
		2 ユニバーサルデザインの視点		○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫		○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮		○	○	○	○

【保健体育】観点別資料

【選定の観点1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○各単元冒頭に各時間の学習のキーワードと学習課題が同時に示されるとともに、各単元に関連し、生徒の興味を引く資料がイラストと共に掲載されていることなどにより、基礎的・基本的な内容を習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元冒頭の「見つける」「学習課題」の部分で学習課題や学習内容に関するキーワードが明示されるとともに、章末に全てのキーワードの解説が掲載されていることにより、生徒がいつでも振り返って学習内容を確認できる構成となっている。また、ほぼ全ての単元を「課題の解決」「活用する」「広げる」の構成で統一し、導入からまとめ・振り返り、発展的活動までの学習活動の流れを順序立てて示すことで、生徒が見通しをもって学習を進め、学習内容を振り返り、確認できるよう工夫がされており、優れている。</p>	<p>○各単元に「やってみよう」「調べてみよう」など、課題解決のための学習活動が示されるとともに、生徒が課題解決に向けて学習を進める際に参考となるグラフや図等の資料も掲載され、内容も簡潔にまとめられており、基礎的・基本的な内容を習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元の冒頭に「学習のねらい」が示されるとともに、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」と学習の流れが明確になっているが、発問内容が生徒にとって具体的にイメージしづらく、興味を抱きにくい表現となっている。</p>	<p>○学習課題が端的に分かりやすく提示され、各単元冒頭の「課題をつかむ」の発問では、多様な導入活動が設定されることにより、生徒が学習課題を把握しやすい構成とすることで、基礎的・基本的な内容を習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元の冒頭「きょうの学習」で学習課題や学習内容に関するキーワードが示され、各単元末の「学習のまとめ」では、具体的な発問が提示されている。また、章末の「章のまとめ」に「主体的に学習に取り組む態度」を設定し、学習内容の理解度等を自己評価する欄を設けることなどにより、生徒が分かりやすく学んだことを振り返り、確認できるよう工夫されている。</p>	<p>○「ウォームアップ 課題の発見」「エクササイズ 課題の解決」「学びを生かす 学びの活用」という構成の中で、生徒が身近な問題や自身の経験の中から発見した課題について考えることができる活動を行うことで、基礎的・基本的な内容を習得しやすいよう工夫されている。</p> <p>○各単元冒頭で「学習の課題」が示され、「ウォームアップ 課題の発見」の発問で、保健体育科としての見方・考え方と学習課題を提示する構成となっている。また、各単元末の「探究しようよ」では、考え方の具体例や関連するイラストや写真等を同時に掲載したり、章末の「章のまとめ」に「振り返ろう」を設定し、学習の理解度等を自己評価する欄を設けたり、章で学んだキーワードを掲載することなどにより、生徒が課題発見から考察・振り返りまで段階的に学習を進める中で、具体的に学習内容が理解できるよう工夫されており、優れている。</p>	

【選定の観点2】

習得した知識及び技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力、判断力、表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
	<p>○各単元末の「活用する」において、生徒が習得した知識を活用し、課題に対する自分の考えをまとめ、発表する活動などを行い、さらに、「広げる」や章末の「学習のまとめ」において、実生活の具体的な場面の中で習得した知識及び技能を活用し、考えを深めることができるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○ほぼ全ての単元において、「見つける」「学習課題」「課題の解決」と課題発見から解決までの流れが段階的に設定されていることにより、生徒が見通しをもって問題解決的な学習を進められるよう工夫されている。また、各単元末の「活用する」において、生徒が内容のまとまりごとに学習課題について考えたことを発表したり、話し合い活動を行うことを通したりして、言語活動が充実するよう工夫されている。</p> <p>○各単元の活動では、生徒が学習課題の合理的な解決に向けて多面的・多角的に考察し、その結果を発表や話し合い活動を通して表現するような発問が設定されるとともに、「広げる」では、学習したことを基に話し合ったり、自他の生活と関連付けて考えたりするなど、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○各単元末の「活用して深めよう」において、交通安全や防災等、実生活に即した具体的な問いが各単元で学習したキーワードと共に提示されていることで、生徒が習得した知識及び技能を活用して考察し、課題意識をもって活動が行えるよう工夫されている。</p> <p>○導入部分の「つかもう」で、学習のねらいに応じた実生活に即した発問が設定されていることにより、生徒が問題解決的な学習を進めやすいよう工夫されている。また、各単元の「話し合ってみよう」や章末の「学びを活かそう」において、生徒同士が話し合う活動が設定されており、言語活動が充実するよう工夫されている。</p> <p>○各単元末の「活用して深めよう」では、食生活や睡眠時間など、生徒自身の生活を振り返る発問が設定されることにより、実生活を具体的にイメージしながら習得した知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元末の「学習のまとめ」では、学習内容を振り返ったり、活用して考える活動などを通して、生徒が学習した知識及び技能の確認が行えるよう工夫されている。また、「章のまとめ」では、その章全体で習得した知識及び技能を確認・活用できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元冒頭の「課題をつかむ」では、学習内容に応じた発問が設定されており、問題解決的な学習を通して、話し合いなどの言語活動を取り入れる工夫がされている。また、各単元末の「学習のまとめ」の中でも、学習した内容に即した発問が設定されており、他者と意見交換ができるように設定されており、生徒が言語活動を行いながら学習内容を振り返り、知識及び技能を活用できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元末の「学習のまとめ」や章末の「章のまとめ」において、学習内容を活用して実生活の課題を考える問題が用意されており、生徒が習得した知識及び技能を活用し、課題解決を図る活動の中で、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元末の「学びを生かす 学びの活用」の中で、生徒がその時間に習得した知識及び技能をまとめ、それを活用して他者に伝える活動などを通して、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>○写真、表、イラスト等の資料が豊富に掲載され、その資料を基にした発問が用意されており、「エクササイズ 課題の解決」「学びを生かす 学びの活用」の中で、生徒が問題発見・解決的な学習を進めやすいよう「見方・考え方」等のマークが用いられるなど、話し合い活動や表現活動などの言語活動の充実に向け、工夫されている。</p> <p>○各単元の「エクササイズ 課題の解決」「学びを生かす 学びの活用」の中で、学習内容に応じ、実生活に即した事象について説明したり表現したりするなど、言語活動を伴う学習活動を多く設定することで、生徒が思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
	<p>○学習課題について、生徒にとって身近な事柄が学習内容に関連するキーワードと共に取り入れられており、各単元末の「広げる」では、学習した内容を基に生徒自身に置き換えて考える学習課題が設定されているなど、探究意欲を高められるよう工夫されている。また、「巻末スキルブック」では、実習資料を基に体験的な活動を取り入れたり、生徒が分析・考察したことを、他者に説明したり、話し合ったりする活動を設定することで、主体的・対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○章末資料では、「がんについてもっと知ろう」や「インターネットと依存症」等、学習した内容に関連させた発展的な内容が紹介され、学習したことを自他の生活に当てはめて、より深く考える活動が用意され、生徒の学びへの意欲をさらに高められるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各単元末の「広げる」では、「調べてみましょう」として、情報収集したりする際にICT機器を利用することが複数例示されており、ICT機器を活用し、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。</p>	<p>○巻頭の「口絵」や章末資料では、生徒が興味をもちやすい資料や表等が取り上げられるとともに、ページ下に「ミニ知識」として学習内容に関連した情報を掲載することにより、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。また、各単元の「話し合ってみよう」や各章の最後に設定された「学びを活かそう」において、生徒が学習した内容を他者と話し合う中で深める活動が設定され、主体的・対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○随所に掲載された「トピックス」や章末資料では、熱中症の予防と応急手当など、学習内容に関連させた発展的な内容が紹介され、生徒が主体的に発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○応急手当等の実習に関連した単元では、ICT機器を利用して情報収集するよう促しているが、他の単元では、ICT機器を活用する場面が少なく、工夫がやや弱い。</p>	<p>○章末の特集資料に、単元に即した身近な題材を用いた課題が設定され、「オリンピック・パラリンピックの歴史」等、学習項目と関係の深い記事を取り上げ、生徒の興味・関心を広げるなど、探究意欲を高められるよう工夫されている。また、各単元末の「学習のまとめ」では、グループでの話し合い活動や発表などを取り入れることにより、主体的・対話的な学習活動にも取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○章のまとめの問題では、「見直そうスマホの習慣」等、生徒が学習した内容を基にした発展的な課題が用意され、各ページ欄外下の随所に掲載されている「ほり下げる」では、加熱式電子たばこ等の学習内容に関連した情報を掲載するなど、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○調べ学習や学習のまとめを行う際にICT機器の利用を促すとともに、ICT機器を利用した活動のイラストや、「効果的な学び方の例」として、ICT機器を活用した学習の流れを写真で掲載するなど、個別最適な学びや協働的な学びを展開しやすいよう、工夫されている。</p>	<p>○章末の「探究しようよ」では、生徒が興味をもちやすく、具体的な事例に基づいた探究的な学習課題を取り上げることで、探究意欲を高められるよう工夫されている。また、各単元が「課題の発見」「課題の解決」「学びの活用」の流れで構成されており、「学びの活用」では、学習したことを基に、話し合い活動を取り入れたりするなど、生徒が主体的・対話的な学習活動を進めやすいよう工夫されている。</p> <p>○各ページ欄外下の随所に掲載されている「もっと広げる・深める」において、様々な自然災害による被害や自然災害への備えを調べたりするなど、その単元や章の学習に関する発展的な内容の資料や学習課題が提示され、生徒がより発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各章末の「探究しようよ！」において、研究の方法にICT機器を活用することを明示したり、「情報機器を活用した学び方の例」として具体的な活用方法を例示することでICT機器の利用を促し、個別最適な学びにつながる工夫がみられる。</p>



【選定の観点4】

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を身に付けられるよう、生徒が体育分野と保健分野の双方の見方・考え方を働かせながら、課題を発見し、合理的に解決に向けた活動が適切に取り上げられていること。

発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○保健編の「傷害の発生要因」の単元の中で、運動中のけがの防止に関する内容を掲載したり、体育編の「運動やスポーツの安全な行い方」の単元の中で、「運動やスポーツと食事」や「スポーツ障害」について関連して学習ができるよう章末資料で掲載したりするなど、保健・体育両分野の見方・考え方を働かせた課題解決に向けた学習の要点が示され、工夫されている。</p> <p>○生徒が実生活の中で、個々の健康課題に応じた適切な意思決定や行動選択につながるよう、「見つける」「活用する」「広げる」において、自身の生活を振り返り、健康を維持していくために必要なことを考える課題が設定されるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害等、傷害の発生要因を具体的な写真やイラスト等を掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定され、特に自然災害において、「共に生きる」という単元の中で、地域と共に災害に備えることの重要性を学習できるよう工夫され、優れている。</p>	<p>○体育編の「運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果」の単元の中で、保健編の「運動と健康」や「生活習慣病の予防」の単元等と関連して学習できるような「リンク」マークで示されるなど、保健編、体育編全体を通して各単元のつながりが記載されており、両分野の見方・考え方を働かせた課題解決に向けた学習活動を展開しやすいう工夫されている。</p> <p>○生徒が実生活の中で適切な意思決定や行動選択につながるよう、「つかもう」「やってみよう」「活用して深めよう」において、健康に関する自身の生活の課題を見付け、改善する方法を考える発問がされるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害等、傷害の発生要因を具体的な写真やイラスト等を掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。</p>	<p>○「特集資料」の「運動やスポーツによるけが」の題材で、保健編の「運動と健康」、体育編の「運動やスポーツの安全なおこない方」と関連するマークが示されるなど、保健編、体育編全体を通して各単元のつながりが分かりやすく記載されており、両分野の見方・考え方を働かせた課題解決に向けた学習活動を展開しやすいう工夫されている。</p> <p>○生徒が実生活の中で適切な意思決定や行動選択につながるよう、各単元の「課題をつかむ」「学習のまとめ」において、健康に関する自身の生活の課題を見付け、改善する方法を考える発問がされるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害等、傷害の発生要因を具体的な写真やイラスト等を掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。</p>	<p>○章末の「探究しよう」の中で、災害から生命を守るための体力の必要性が、関連ページを示しながら掲載されるなど、単元に関連するコラムや学習内容に関連する情報、関連ページのリンクなどの内容が充実しており、保健・体育両分野の見方・考え方を働かせた課題解決に向けた学習を展開しやすいう工夫されている。</p> <p>○生徒が実生活の中で適切な意思決定や行動選択につながるよう、「ウォームアップ 課題の発見」において、生活習慣病の予防の観点から、自身の生活の課題を見付け、改善する方法を考える発問がされるなど、工夫されている。また、交通事故や自然災害、犯罪被害等、傷害の発生要因を具体的な写真やイラスト等を掲載しながら紹介するとともに、具体的な回避の方法を自分で考えたり、話し合ったりする活動が設定されるなど、工夫されている。</p>	

【選定の観点5】

日常生活に関連が深い教材や健康に関する課題を発見・解決する活動とともに、生徒が自他の健康に関心を持ち、運動やスポーツの多様性について知ることができる活動に取り組みやすいよう多様な学習方法が取り上げられていること。

発行者名	2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
	<p>○実習を伴う学習の「リラクセーションの方法」「直接圧迫止血法・包帯法」「心肺蘇生法の手順」「心肺蘇生の方法」「AED」等において、写真やイラスト等を豊富に掲載することで、生徒がより具体的にイメージし、実習が展開しやすいよう優れた工夫がされている。</p> <p>○巻頭の「保健体育の学習方法」において、生徒のコミュニケーション力や論理的思考力の育成に向けた「情報の収集」「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の多様な学習方法を見開きページにわたって詳しく提示するとともに、各単元末の「活用する」において、「説明してみよう。」や「話し合ってみよう。」等の問いの中で、実際に生徒がそれらの学習方法を活用できるよう優れた工夫がされている。</p>	<p>○気体検知管により気体の濃度を測定する実験や、心肺蘇生法などの実習に関する多くの写真やイラスト等を掲載し、生徒が実習を展開しやすいよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の「保健体育の学び方」において、生徒のコミュニケーション力や論理的思考力の育成に向けた「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の多様な学習方法が具体的に提示されている。また、章末資料の「学びを活かそう」において、対話や発表を通して、他者に伝える場面を設定することで、コミュニケーション力の育成に向けた工夫がされている。</p>	<p>○実習を伴う学習の「リラクセーションの方法」「心肺蘇生法」「止血法、包帯法、固定法」において、写真やイラスト等を掲載することで、生徒が具体的にイメージし、実習を展開しやすいよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の「保健体育の学び方」において、「課題学習」「実習」「ブレインストーミング」「ディスカッション」「インタビュー・アンケート・実地調査」の具体的な学習方法を提示し、生徒が多様な学習方法に取り組めるよう工夫されている。また、各単元末の「学習のまとめ」において、「グループで話し合ってみよう」等の課題を提示し、実際に生徒がそれらの学習方法を活用できるよう優れた工夫がされている。</p>	<p>○実習を伴う学習の「リラクセーションの方法」「心肺蘇生法」「きずの手当」において、写真やイラストなどを掲載するとともに、チェックシートで実施方法の順序が見やすくまとめられており、生徒にとって学習しやすいよう優れた工夫がされている。</p> <p>○巻頭に「さまざまな学習方法」がまとめられ、「事例を用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「コンピューターなどの活用」等の具体的な学習方法を2ページにわたって示すことで、生徒が多様な方法により学習が展開できるよう工夫されている。また、各単元末の「学びを生かす 学びの活用」において、「考えを出し合ってみましょう。」等の課題を提示し、実際に生徒がそれらの学習方法を活用できるよう優れた工夫がされている。</p>

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名			
2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○写真やイラストに登場する男女の比率や役割に偏りがなく配慮されている。また、章末資料で「性の多様性」について取り上げたり、他者との共存、年齢の違いや障がいの有無、国や民族を超えた取組をイラストや絵で紹介したりするなど、人権教育の視点に立った工夫がされている。</p> <p>○全ての「章の扉」に、道徳の各内容項目との関連性が示されており、生徒が道徳との関連について理解しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○随所に掲載された「トピックス」において「個性や能力を大切にすること」や「アルコール・ハラスメント」を取り上げるなど、人権教育の視点に立った工夫がされている。</p> <p>○「人との関わりと自分らしさ」の単元で、社会性が発達することについて詳しく掲載したりするなど、生徒が道徳との関連について理解しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○コラムで「エイズに対するさまざまな取り組み」を掲載したり、特集資料において「性的マイノリティ」の人たちが抱える不安や悩みについて取り上げたりするなど、人権教育の視点に立った工夫がされている。また、生徒イラストにおいて、国籍や制服着用等に多様性が見られ、人権に配慮されている。</p> <p>○巻頭の「共生社会をつくるために」で共生社会に関する口絵を多数掲載するなど、生徒が道徳との関連について理解しやすいよう工夫されている。</p>	<p>○実習「リラクゼーションの方法」において、いじめに関する内容を取り上げたり、「飲酒と健康」の単元のコラムでアルコール・ハラスメントに関する内容を掲載したりするなど、人権教育の視点に立った工夫がされている。</p> <p>○巻末の「キーワードで見る保健体育の学習内容」で道徳の各内容項目との関連性が示されており、生徒が道徳との関連について理解しやすいよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○保健編、体育編が学年ごとにまとめられており、各学年の学習内容が明確になっている。また、見開きページを1時間で学習することを基本として単元が構成されており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○各単元が「つかもう」、「やってみよう」や「話し合ってみよう」、「活用して深めよう」という学習の流れで統一され、自ら学習課題を見付け、解決していくという、課題解決的な学習ができるよう構成されている。また、見開きごとに基本的な知識がまとめられるとともに、学習内容に関連する資料を掲載することで、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○保健編、体育編を学年ごとにまとめ、各学年の学習内容が明確になっていることに加え、見開きページを1時間で学習することを基本として単元構成することで、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○保健編、体育編が学年ごとにまとめられており、各学年の学習内容が明確になっていることに加え、各学年末にはまとめのページを設け、学習を振り返ることができる構成が成されている。また、見開きページを1時間で学習することを基本として単元構成することで、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○「犯罪被害の防止」や「自然災害による危険」、「自然災害による傷害の防止」の単元など、他教科と関連する内容や資料にマークを付すことに加え、関連する教科の単元名まで示し、他教科の具体的な学習内容を明示することで、生徒が他教科の学習内容との関連を想起しやすいよう工夫されている。</p> <p>○章の導入部分に、その章の学習に関連し、小学校で学習した内容や中学校で学習すること、高等学校で学習することが記載され、他校種との接続が図られている。</p> <p>○「地域安全マップ」を作成する学習活動や、地域の避難場所や経路を調べて、自身の「防災タイムライン」を作成する学習活動、災害に備えるために家庭で話し合う学習等を掲載することにより、生徒が地域や家庭について考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○個人の健康を守る社会の取り組みの単元など、他教科の内容と関連する部分にマークを付すことに加え、関連する教科の単元名まで示されており、他教科の具体的な学習内容を明示することで、生徒が他教科の学習内容との関連を想起しやすいよう工夫されている。</p> <p>○章の導入部分に、その章の学習に関連し、小学校、中学校、高等学校で学習する項目が整理して記載され、他校種との接続が図られている。</p> <p>○家庭や地域における健康や安全について考える活動にマークを付すことにより、生徒が地域や家庭との連携について考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「体の発育・発達」「気象情報の適切な利用」の単元など、他教科の内容と関連する内容にマークを付すことに加え、関連する教科の単元名まで示し、他教科の具体的な学習内容を明示することで、生徒が他教科の学習内容との関連を想起しやすいよう工夫されている。</p> <p>○章の導入部分に、その章の学習に関連し、小学校で学習した内容や中学校で学習すること、高等学校で学習する内容が記載され、他校種との接続が図られている。</p> <p>○「自然災害によるけがの防止」の単元で、家具に関する地震対策など、日常生活の中の話題を取り上げている部分はあるが、生徒が身近に考えることができる具体的な内容が少なく、工夫が十分でない。</p>	<p>○巻末の「キーワードで見る保健体育の学習内容」には、各章ごとの学習に関連する他の教科名と単元名をまとめた内容が記載されるなど、工夫されている。</p> <p>○章の導入部分に、その章の学習に関連し、小学校、中学校、高等学校で学習する項目が整理して記載され、他校種との接続が図られている。</p> <p>○災害に備えて、行動計画の「タイムライン」を作成する活動や、「ウォームアップ 課題の発見」において、自然災害における家庭での対応について考えることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名			
2 東書	4 大日本	50 大修館	224 Gakken
<p>○キーワードとなる語句は太文字にし、常用漢字には全て振り仮名を付すなど、生徒が使いやすいよう配慮されている。</p> <p>○全ての文字にユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し可読性を高めるとともに、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家からの校閲を受けている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。</p>	<p>○本文を左ページ、資料を右ページに分けて示す紙面構成となっており、本文と資料を見比べやすく、生徒にとって使いやすいよう配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し可読性を高めるとともに、読みやすい位置での改行など、特別支援教育にも配慮されている。また、デザインやレイアウトは専門家による監修を受けている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙・植物油インキが使用されている。</p>	<p>○図表やイラストの配色が明瞭で、生徒が見やすいよう配慮されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの専門家の編集協力により、線や配色等に工夫が見られる。また、ユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、視認性等を高めるとともに、特別支援教育に配慮した紙面としている。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙・植物油インキが使用されている。</p>	<p>○資料を豊富に掲載するとともに、視覚的に余裕のある紙面としている。また、図表やイラストの配色が簡素で、生徒が見やすいよう配慮されている。</p> <p>○書体、カラー、レイアウトなど、ユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○製本は堅牢で、長期間の使用に耐えられるよう工夫されている。</p> <p>○環境に配慮した紙・インキが使用されている。</p>